



OBAYASHI ROAD

計量装置搭載ダンプ 『スケールダンプ』

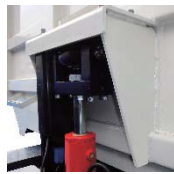
技術概要

積荷の計量装置を搭載したダンプトラックです。
積み込みながら積載荷重を直接計量することで
安全で効率のよい積み出し・運搬を実現します。

前側のロードセルは専用シリンダの上部に被せ、
シリンダを少し伸ばして計ります



前側ロードセル



後側ロードセル

後側のロードセルは、
ピン式で、荷台の後方
の左右のヒンジに組み
込んであります



シリンダ



基幹ユニット

計量用CPUやシリンダ作動の基幹部



技術の特長

- 体積計量と異なり、対象物の密度や形状の影響を受けません。
- 計量誤差は5%以下です。
- 低速走行(5~8km/h)しながらの計量が可能です。

ロードセルで計測された積載物の重量は、逐次ドライバーがコクピット内で確認でき、積込作業員も外部表示計で確認できます。



コクピット内の表示計



外部表示計



計量操作はコクピット内の
操作スイッチで行います。

舗装の切削廃材等は作業にあわせて低速走行しながら(5~8km/h程度)計量可能です。

大林道路株式会社

〒101-8228 東京都千代田区神田猿樂町2-8-8
TEL 03-3295-8855
<http://www.obayashi-road.co.jp>

※本技術は大煌工業株式会社、極東開発工業株式会社との共同開発によるものです。